



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年1月31日

上場会社名 中山福株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7442 URL <https://www.nakayamafuku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 宣博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画本部長兼経営企画部長 (氏名) 森本 徹 TEL 06-6271-5393
 兼EC企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	36,797	0.3	△191	ー	330	△49.2	189	△43.6
30年3月期第3四半期	36,696	△0.3	132	△68.4	650	△31.3	336	△46.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △372百万円 (ー%) 30年3月期第3四半期 370百万円 (△57.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	9.44	ー
30年3月期第3四半期	16.74	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	36,689	20,755	56.6	1,031.98
30年3月期	32,176	21,670	67.3	1,077.48

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 20,755百万円 30年3月期 21,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	ー	0.00	ー	27.00	27.00
31年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
31年3月期(予想)	ー	ー	ー	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	3.4	0	△100.0	650	△27.8	350	△25.1	17.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	20,214,480株	30年3月期	20,214,480株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	102,667株	30年3月期	102,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	20,111,813株	30年3月期3Q	20,111,813株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや、雇用・所得環境の改善が続いており、緩やかな景気回復基調で推移しております。

一方、当社の主な販売先であるスーパーマーケットやホームセンター等は、ネット通販市場の一層の拡大や他業態の参入により価格競争が激化する中、各社の業績の格差が拡大するなど厳しい状況が続いております。

当社グループにおきましても、前連結会計年度に買収した射出成形メーカーであるグリーンパル株式会社の売上高が寄与したものの、競争環境の激化に伴い収益の確保が厳しくなる一方、人件費や運賃等の経費が増加するなど、依然厳しい運営を余儀なくされております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、連結子会社とのシナジー効果の発揮などを通じて、経営戦略である、「既存市場におけるシェア拡大」、「新規販売チャネルの開発」、「海外市場への販路拡大」、「自社オリジナル商品の強化」に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は367億97百万円（前年同期比0.3%増）、営業損失1億91百万円（前年同期は営業利益1億32百万円）、経常利益3億30百万円（前年同期比49.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億89百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

品目別売上高につきましては、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)		前期比増減額 金額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
キッチン用品	13,405	36.5	12,762	34.7	△642
ダイニング用品	10,556	28.8	9,886	26.9	△669
サニタリー用品	5,568	15.2	5,499	14.9	△68
収納用品	2,840	7.7	3,063	8.3	222
インテリア関連商品	642	1.8	562	1.5	△79
プラケース・園芸用品	—	—	992	2.7	992
シーズン用品その他	3,683	10.0	4,030	11.0	347
合計	36,696	100.0	36,797	100.0	101

「キッチン用品」は、フライパン、鍋ギフトセット、調理小物等を中心に127億62百万円（前年同期比4.8%減）となりました。「ダイニング用品」は、ステンレスボトル、ランチボックス、卓上保温容器等を中心に98億86百万円（前年同期比6.3%減）となりました。「サニタリー用品」は、清掃用具、浴室小物、スペアテープ等を中心に54億99百万円（前年同期比1.2%減）となりました。「収納用品」は、プラスチック引き出しケース、キッチンアクセサリー、玄関小物用品等を中心に30億63百万円（前年同期比7.8%増）となりました。「インテリア関連商品」は、時計、照明等を中心に5億62百万円（前年同期比12.3%減）となりました。「プラケース・園芸用品」は、コンテナ収納、園芸用品を中心に9億92百万円となりました。「シーズン用品その他」は40億30百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

なお、当連結会計年度より、「収納用品」、「プラケース・園芸用品」、「シーズン用品その他」に、グリーンパル株式会社の売上高を含めております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は257億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億22百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が31億86百万円、受取手形及び売掛金が3億66百万円、商品及び製品が13億34百万円、電子記録債権（その他）が4億58百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は108億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億9百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が79百万円、無形固定資産が63百万円、投資その他の資産が7億66百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は366億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ45億13百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は140億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億50百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が34億62百万円、短期借入金が20億17百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は18億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は159億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億28百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は207億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億15百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1億89百万円の計上とその他有価証券評価差額金5億74百万円の減少と剰余金の配当5億43百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は56.6%（前連結会計年度末は67.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年10月31日の「平成31年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,026,920	7,212,926
受取手形及び売掛金	11,143,109	11,509,369
商品及び製品	4,107,888	5,442,457
仕掛品	26,374	41,660
原材料	145,108	242,970
その他	925,957	1,362,590
貸倒引当金	△7,659	△21,982
流動資産合計	20,367,700	25,789,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,337,971	3,214,060
土地	3,408,672	3,408,672
その他(純額)	167,634	212,186
有形固定資産合計	6,914,279	6,834,919
無形固定資産		
のれん	559,500	503,061
その他	42,296	35,657
無形固定資産合計	601,796	538,719
投資その他の資産		
投資有価証券	4,085,525	3,290,137
その他	230,586	297,564
貸倒引当金	△23,200	△61,582
投資その他の資産合計	4,292,911	3,526,118
固定資産合計	11,808,987	10,899,758
資産合計	32,176,688	36,689,751
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,178,764	9,640,767
短期借入金	898,642	2,915,692
1年内返済予定の長期借入金	123,329	177,128
未払法人税等	289,417	98,204
賞与引当金	235,222	129,080
その他	868,740	1,084,193
流動負債合計	8,594,116	14,045,065
固定負債		
長期借入金	1,076,671	1,345,258
役員退職慰労引当金	179,300	131,838
退職給付に係る負債	242,439	249,036
その他	414,110	163,529
固定負債合計	1,912,521	1,889,661
負債合計	10,506,638	15,934,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,706,000	1,706,000
資本剰余金	1,269,049	1,269,049
利益剰余金	17,081,924	16,728,708
自己株式	△66,656	△66,656
株主資本合計	19,990,317	19,637,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,712,936	1,138,398
繰延ヘッジ損益	—	△197
退職給付に係る調整累計額	△33,204	△20,278
その他の包括利益累計額合計	1,679,732	1,117,922
純資産合計	21,670,050	20,755,024
負債純資産合計	32,176,688	36,689,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	36,696,158	36,797,939
売上原価	30,215,286	30,306,409
売上総利益	6,480,872	6,491,529
販売費及び一般管理費	6,347,938	6,683,484
営業利益又は営業損失(△)	132,933	△191,954
営業外収益		
受取利息	133	135
受取配当金	50,859	54,503
仕入割引	381,090	372,416
その他	95,649	112,495
営業外収益合計	527,733	539,551
営業外費用		
支払利息	2,239	9,295
賃貸費用	5,178	5,008
その他	2,384	2,374
営業外費用合計	9,802	16,678
経常利益	650,864	330,917
特別利益		
固定資産売却益	—	1,342
受取保険金	—	29,927
特別利益合計	—	31,270
特別損失		
固定資産除却損	6,830	27
減損損失	80,009	—
災害による損失	—	36,519
特別損失合計	86,839	36,547
税金等調整前四半期純利益	564,025	325,641
法人税等	227,290	135,837
四半期純利益	336,734	189,803
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	336,734	189,803

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	336,734	189,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,984	△574,538
繰延ヘッジ損益	54	△197
退職給付に係る調整額	40,490	12,925
その他の包括利益合計	33,560	△561,810
四半期包括利益	370,294	△372,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	370,294	△372,007
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。